

令和4年度 杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園 学園経営方針

I
II

令和4年度学園経営の最上位目標…●「3つのC」を体現する児童・生徒の実現 ●Diversity(多様性)を認め合う学園の実現

- 令和4年度の重点とする目標…
- 1 Communicate の実現 -小中一貫教育のよさを生かし、豊かにかかわる児童・生徒を育てる。-
 - 2 児童・生徒の安全・安心の実現 -学校事故及び新型コロナウィルスの感染防止に力を尽くす。-
 - 3 教職員の働き方改革の実現 -教師としての使命感を高め、より良い授業づくりを目指す。-

教育目標 「学園の3つのC」



豊かにかかわる

【CSアクションプラン】

- (1) 多様性(Diversity)を認め合う児童・生徒及び教職員の交流の活性化
- (2) 地域との協働で行うキャリア教育の充実
- (3) タブレット端末で学習者同士が繋がる「学び合う学習」の充実

【経営方針】

- (1) 「つながり」と「かかわり」を大切にした小中一貫教育を推進するとともに異文化・異言語・異世代の交流活動等を地域と協働して進め、多様性を認め合う児童・生徒を育てます。
- (2) 小学部と中学部及び特別支援学級と通常学級との交流を精力的に進めます
- (3) 「キャリア教育 9年カリキュラム」の充実のために地域と協働していきます。
- (4) タブレットPCを活用し「主体的・対話的で深い学び」を実現し、児童・生徒の情報活用能力を高めると共に、自分の意志や考えを伝え合う力を育てます。
- (5) いじめへの教員の組織対応力を高め、いじめを許さない学園を実現します。
- (6) 不登校児童・生徒の校内外での居場所、学ぶ場所づくりを進めます。

新たに創造する

【CSアクションプラン】

- (1) 多様性(Diversity)を尊重した学園生活の充実
- (2) 社会との繋がりを意識したキャリア教育の充実
- (3) タブレット端末を賢く活かした探究的・協働的な学びを追究する小中一貫教育の充実

【経営方針】

- (1) 小中交流等の取組や体育的・文化的行事等を児童・生徒が互いに尊重し、主体的に進めるものに改善し、児童・生徒の主体性や創造力を高めます。
- (2) 持続可能な社会の創り手となるためにSDGsについての探究的な学習を「キャリア教育9年カリキュラム」に位置付けて実施します。
- (3) 毎日の授業において積極的にタブレット端末等を活用した「問い合わせ直す」学習に取り組み、探究的・協働的な学びの効果を高めます。



ひたむきに挑戦する

【CSアクションプラン】

- (1) 多様性(Diversity)を身に付ける異文化・異言語学習の意欲的な実践
- (2) 地域との協働で行う系統性をもったキャリア教育の実践
- (3) ICTの先進的活用による授業改善の実現

【経営方針】

- (1) 小中連携の英語科授業や、海外交流校との英語交流を充実し、児童・生徒が英語を積極的に使おうとする態度を育てます。
- (2) 「児童・生徒の知的好奇心を喚起する授業」「児童・生徒が主体的に学習を進める授業」「算数・数学・英語での少人数学習」「高学年での教科担任制の実施」「家庭との児童・生徒の学習評価の共有化」等により、主体的に学びに向かう力を育てます。
- (3) 「キャリア教育 9年カリキュラム」を発達段階に応じた内容に取り組みます。
- (4) PCを自在に活用できる力を育てるために毎日、タブレットPCを活用します。特に、タブレットPCに学習者用デジタル教科書(5年生以上…国語・英語)の効果的な活用に挑戦します。

教育環境・組織経営・働き方改革他

【教育環境】

- 小中学部の学級増に伴い、教室配置を大幅に見直します。
- 新型コロナウイルス感染予防に努め、安全・安心な教育環境を作ります。

【組織経営】

- 地域運営型学校として、学校支援本部、学校運営協議会、地域教育推進協議会と協働した経営及び教育活動等を進めます。
- 全教職員が3つのCの育成を目指したカリキュラムマネジメントを進めます。
- ダイバーシティ・多様性を尊重するカリキュラムを編成・実施します。
- 全教員が異校種との乗り入れ指導を実施します。
- 主幹教諭を中心とした主体的・協働的な組織運営を進めます。
- 済美教育センターの協力を得て、若手教諭等のOJTを計画的に進めます。
- 児童・生徒の安全指導・安全管理を徹底します。
- 配当予算等の適切な執行と管理のもと学校事務の適正化に努めます。
- 危機管理(情報管理、安全管理、服無事故防止等)に取り組みます。

【働き方改革】

- 校務PCを活用したタイムマネジメントを全教員が進めます。
- 授業時数、学校行事等、教育課程を適切に管理し、精選を図ります。
- 外部人材活用やPCによる考査の実施・採点による業務の効率化を図ります。